

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 20

2008.11

K a s h i w a b a N e u r o s u r g i c a l H o s p i t a l

放置していませんか？手足のしびれ

職員が安心して働き続けるために職場風土改革促進事業に取り組んでいます
KASHIWABA NEWS／病院機能評価の更新認定を受けました



放置していませんか？ 手足のしびれ

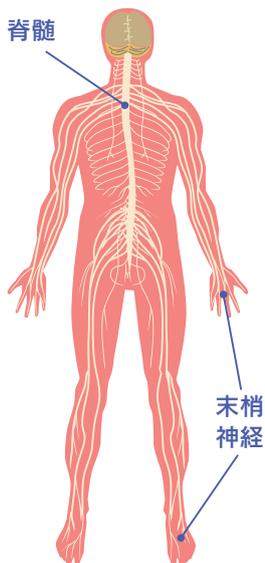
しびれを感じたら、必ず受診を

しびれは、日常診療の中でも訴えの多い症状の一つで、10代から高齢の方まで幅広い年齢層に見られます。「指先がピリピリする」「手足がビリビリする」「感覚が鈍い」「皮膚が冷たい感じがする」など、しびれは様々に表現されます。

手や腕の酷使や生活習慣などが原因で起こる心配のないしびれであることも多いのですが、脳や脊髄、末梢神経の障害が原因のこともあります。しびれを放置せずに、診察・検査を受けることが大切です。

頸椎や脊髄、末梢神経の 病気が考えられます

手や足などの感覚は末梢神経から背中にある脊髄を通じて脳に伝わっています。この神経の通り道に何らかの障害があると、痛みやしびれ等の症状が出ます。



【変形性頸椎症、 頸椎後縦靭帯骨化症】

頸椎の中には、脊髄という脳と手足を結ぶ神経が通っています。何らかの原因で頸椎に異常が起きたり脊髄が圧迫されると、信号が途中で止まっ



脳神経外科医長

藤本 真

Shin Fujimoto

【プロフィール】

平成2年 北海道大学医学部卒業
得意分野

脊髄・脊椎疾患、脳神経外科一般。
整体技術の応用。

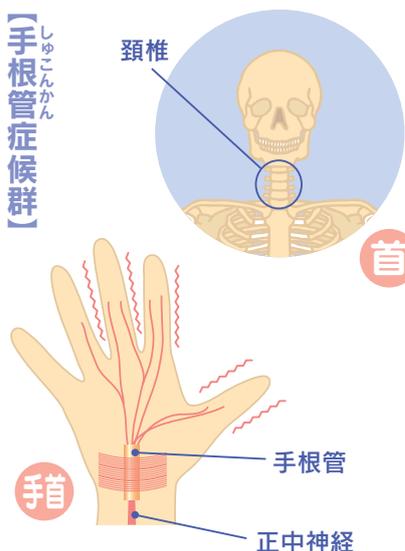
認定医・専門医

日本脳神経外科学会専門医

日本脊髄外科学会認定医

医学博士

てしまい、うまく手足を動かすことができないばかりか、痛みやしびれなどの症状が出ます。



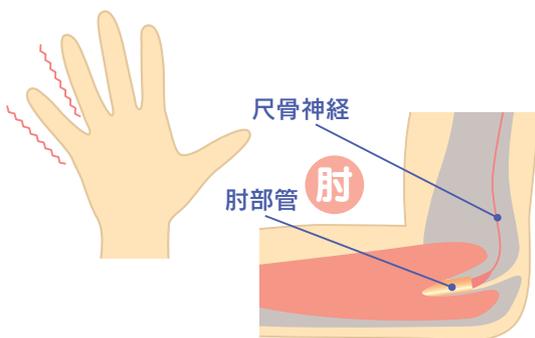
【手根管症候群】

手首の手のひら側の手根管を通っている正中神経が圧迫されるとしびれが起きます。正中神経は、親指から薬指の親指側半分、指と親指側半分の手のひらの感覚と、手首や手指の屈曲、親指と小指をつける運動を支配している神経です。

親指から薬指の親指側半分がしびれるのが特徴です。

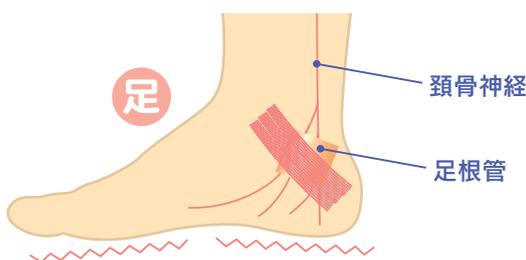
【肘部管症候群】
ちゅうぶかん

小指と薬指の感覚と手指の筋肉を支配している尺骨神経が、肘の皮膚表面近くの肘部管を走っています。長時間肘を曲げたままだったり、異常な骨増殖などで障害されたりすると、薬指と小指にしびれを感じます。

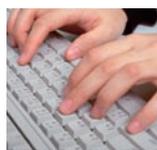


【足根管症候群】
そつこんかん

足首の内くるぶしの後方に通っている神経を取り巻く管を足根管といいます。足根管を通る頰骨神経が圧迫されると、足の痛みやしびれを引き起こします。「いくつもの小さな石を踏んでいるような感じ」と表現する患者さんもいます。



職業や生活習慣で
起こるしびれが
あります



同じ姿勢を長時間続けたり、手首を酷使する職業（コンピュータ事務職や美容師、運転手など）に就いている場合、筋肉のコリや血液の循環が悪

生活習慣の見直し
整体やマッサージで
改善させる治療も

くなり、しびれが起きます。また、ストレスや精神面の影響で、しびれが起きることがあります。

診察、検査の結果、手術などの治療を必要とする病気があるかないか、専門医が確認いたします。ただちに手術を必要とするケースは稀です。マッサージや整体で筋肉のコリ、血行不良が改善すると症状が改善する場合も多くみられます。

当院では、近隣の整骨院等とも連携して、しびれや痛みなどの症状の変化を確認しながら、患者さん1人1人に合った治療を探ります。じっくりと治療に取り組む姿勢が大切です。

！片側の手と足が突然しびれたら要注意

突然、片側の手と足（上下肢）にしびれを感じたり、しびれ以外にめまいや歩行障害、言語障害などの症状がある場合は要注意です。脳梗塞や脳出血などの脳血管障害が起きていることがあります。この場合は当院で緊急に頭部の精密検査をし、必要な治療を行います。

また、手足のしびれの部位が徐々に広がったり、しびれとともに手や足に力の入りにくい感じがある場合は末梢神経障害が疑われるので、当院の神経内科で精密検査を行います。



しびれや気になる
症状があったら
自分で判断をせず
必ず受診しましょう

受診のときには…

次のような点を書きとめていきましょう。よりスムーズな診察につながります。

- しびれを感じる場所はどこですか？
- どのようにしびれますか？
- しびれを感じたきっかけは？
- どんなときにしびれが楽になり、どんなときに強くなりますか？
- 職歴・生活習慣など

※問診の後はレントゲン検査などを行うこともあります。

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

職員が安心して働き続けるために
職場風土改革促進事業に取り組んでいます

特定医療法人 柏葉脳神経外科病院 理事長 金子貞男

日本社会は今、急速な少子高齢化の波が押し寄せ、働き手となる年齢層の数が減少し、雇用を安定していくことが非常に困難になってきています。企業は社会的責任として、従業員一人ひとりが充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、仕事と家庭、仕事と育児そして介護を両立できる仕組みや風土を整える必要があると考えています。

そこで柏葉脳神経外科病院は、平成20年6月9日付け財団法人21世紀職業財団北海道事務所長より「職場風土改革促進事業実施事業主」に指定され、いわゆる仕事と生活の調和（ワークライフ balan



ス）をとり労働意欲と生活の充足を図ることを目指し、職場環境の整備に努めてまいります。

〈当院の取組み事項〉

- 管理職層への研修の実施
- 両立支援制度の労働者への周知
- 育児休業者等への相談窓口の設置
- 仕事と家庭の両立アンケートの実施

病院機能評価の更新認定を受けました

1998年から取り組んでいました日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新が、9月20日付で認定されました。更新認定に慢心することなく、全職員が患者さん一人ひとりに「安全と安心」を提供する心遣いと創意工夫を重ねながら、今後も医療者としての責任を果たします。



- 1998年 8月 Ver.2.0にて認定
- 2003年 11月 Ver.4.0にて更新認定
- 2008年 9月 Ver.5.0にて更新認定

編集後記

初雪も降り、朝夕はめっきり冷え込むようになりました。寒暖の差に体調を崩されている方はいませんか。巷では新型のインフルエンザが世界的な大流行の懸念があるという話もあり、そんな話を後押しするかのよう、インフルエンザの診断報告が例年より2カ月も早く報告されている都市もあります。適度な温度湿度を保ち、栄養と休養を充分とり、体力と抵抗力を高めましょう。(小川)